

第5学年国語科指導案

1 日 時 令和3年11月19日（金） 2校時（9：35～10：20）

2 学年・組 第5学年1組 （19名）
第5学年2組 （19名）

3 単元名 なりきり清少納言
「季節の言葉 春・夏・秋・冬」

4 単元の目標

- (1) 古典について解説した文章を読んだり作品の内容の大体を知ったりすることを通して、昔の人のものの見方や感じ方を知ることができる。((3)イ) (知識及び技能)
- (2) 人物像や物語などの全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりすることができる。
(C(1)エ)
文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめることができる。(C(1)オ) (思考力、判断力、表現力等)
- (3) 言葉がもつよさを認識するとともに、進んで読書をし、国語の大切さを自覚して思いや考えを伝え合おうとする。 (学びに向かう力、人間性等)

5 単元で取り上げる言語活動

清少納言になりきって、「オリジナル枕草子」を制作する。

6 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
① 古典について解説した文章を読んだり作品の内容の大体を知ったりすることを通して、昔の人のものの見方や感じ方を知っている。 (3)イ	① 「読むこと」において、人物像や物語などの全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりしている。 (C(1)エ) ② 「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめている。(C(1)オ)	① 積極的に、文章を読んで理解したことに基づいて自分の考えをまとめ、これまでの学習を生かして「オリジナル枕草子」を制作しようとしている。

7 単元について

(1) 児童観

児童は、これまでに「古典の世界」において、『平家物語』や『竹取物語』などを一部暗唱する活動を通して、言葉の響きやリズムを楽しむとともに、古文ならではの表現に興味をもつことができている。俳句を作る活動（亀っ子俳句）に意欲的に取り組んでいる児童も多い。しかし、四季の言葉をありきたりのイメージで答える児童や、自然物ではなく人工物で捉える児童が多く、作者が風景を見たり、考えたりしていたものを想像し表現できる児童は少ない。

また、国語科の学習を通して、様子や行動、気持ちを表す語句を使用して記述したり話し合ったりする活動を行っている。国語科の学習の他、読書をした後に記述する「読書の記録」や他教科等（社会科や外国語科、特別活動等）においても取り組んでいるが、自分の考えや感じたことをまとめて表現することが難しく、習得している語彙が不十分な児童が多い。「言葉のたから箱」（考えや気持ちを伝える言葉）をいつでも確認できるようにしたり、分からない言葉は辞書で調べたりすることで、語彙が増えるよう繰り返し取り組んでいる状況である。

(2) 教材観

本教材は、日本の四季の変化や特徴を、作者である清少納言が繊細な感性でとらえたものである。現代でも共感できる情景ばかりではないが、解説文を読みながら今と比較することにより、情景は変化しても四季に寄せる人々の思いは変化しないということに気付かせることができる教材である。

また、歴史的仮名遣いと現代仮名遣いの違いや当時と同じ意味で使われている言葉や、今では使われなくなっている言葉や言葉遣いなどについても気付かせることができると考えられる。

(3) 指導観

本単元では、自然の移り変わりに目を向けて四季を表す言葉集めを行うことを通してイメージを広げ、語彙を豊かにしていきたいと考える。そのために、「亀っ子俳句（毎月）」や「読書の記録」（「言葉のたから箱」を使用）の活動を引き続き計画的に行っていく。また、思考ツール（マインドマップ）を活用して、季節のイメージを具体的に広げていきたいと考える。

『枕草子』の冒頭の章段は、四季（自然）への細かな観察と感想が述べられている。「春はあけぼの」「夏は夜」「秋は夕暮れ」「冬はつとめて」など、短い言葉で断定的に述べられていて歯切れがよい。これを書き換えて、「春は～」「夏は～」…で始まる「オリジナル枕草子」を制作するという活動に取り組み、自然の変化や随筆への関心を広げたい。

言語活動としては、清少納言風の随筆を書く活動を設定した。その活動から、昔と今の情景の違いや言葉遣いの違いなどを感じながら日本語のおもしろさや不思議さを感じさせたい。

口語のリズムや響きの良さを感じながら「枕草子」を読み、昔と今のものの見方や感じ方を比較しながら理解したことに基づいて、「オリジナル枕草子」を書いたり、互いに読み合ったりする活動を通して、思いや考えの幅を広げていけると考える。また、季節のよさを伝えるための効果的な方法が取り入れられるように、これまで学習した表現の仕方を掲示し活用させていきたい。「オリジナル枕草子」の清書は、書写と関連させた学習を計画している。

8 単元の指導計画（7時間扱い）

次	時	学習活動	指導上の留意点	評価規準・評価方法等
0		<ul style="list-style-type: none"> ○月に一度「亀っ子俳句」の作句に取り組む。 ○言葉集め（マインドマップ）を行う。 ○ブックトーク(本の紹介)を聞き、古典作品や作者(清少納言等)に親しみ、関心を持つ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・古文や当時の様子などに興味をもてるよう、本の紹介をする。 ・思考ツール（マインドマップ）を使い、季節のイメージを膨らませるようにする。 	
一	1	<ul style="list-style-type: none"> ○季節の言葉「春・夏・秋・冬」を読んで、内容の大体を捉え感想を伝え合う。 ○「オリジナル枕草子」を制作するという見通しをもつ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・これまで学習してきた古典の世界を想起させる。 ・学習のねらいと言語活動の内容を具体的に示し、学習の見通しがもてるようにする。 	
二	2	○季節の言葉1「春の空」を読んで歴史的仮名遣いや口語を知り、大体の内容や文章の表現・構成をつかむとともに、清少納言と自分の考えを比較する。	<ul style="list-style-type: none"> ・古文ならでの響きを感じられるように音読し、概要と読み比べながら言葉の意味について確認させる。 ・各季節の始めの文に注目させ、「季節+趣のある時間・風物詩」から書き出していることに気付かせる。 ・清少納言と自分の考えを、視点を基に比較させる。 	<p>○古典について解説した文章を読んだり作品の内容の大体を知ったりすることを通して、昔の人のものの見方や感じ方を知ろうとしている。[知①]【観察・なりきり清少納言】</p> <p>◎人物像や物語の全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりしている。[思①]【観察・なりきり清少納言】</p>
	3	○季節の言葉2「夏の夜」を読んで、歴史的仮名遣いや口語を知り、大体の内容や文章の表現・構成をつかむとともに、清少納言と自分の考えを比較する。		
	4	○季節の言葉3「秋の夕暮れ」を読んで、歴史的仮名遣いや口語を知り、大体の内容や文章の表現・構成をつかむとともに、清少納言と自分の考えを比較する。		
	5	○季節の言葉4「冬の朝」を読んで、歴史的仮名遣いや口語を知り、大体の内容や文章の表現・構成をつかむとともに、清少納言と自分の考えを比較する。【5年2組本時】		
三	6	○清少納言の視点について考える中で、「オリジナル枕草子」の材料集めをする。		

(三)	7	○定型句や表現方法を使って、清少納言になりきって「オリジナル枕草子」を書く。 【5年1組本時】	・前時までに考えた各々の情景を活用して書かせるようにする。 ・作品を見る視点を全体共有し、それに基づいたアドバイスができるようにする。	◎積極的に文章を読んで理解したことに基づいて自分の考えをまとめ、これまでの学習を生かして「オリジナル枕草子」を制作しようとしている。〔主①〕【観察・なりきり清少納言】
-----	---	--	--	---

9 主体的な伝え合いのために

主体的な伝え合いを行っていくために、児童が自ら伝えたいと思えるよう、児童一人一人が選んだ季節で清少納言になりきって、「オリジナル枕草子」を制作するという言語活動を設定した。学校全体で行われている「亀っ子俳句」と関連させ、本単元の学習前から言葉集め（マインドマップ）を行っていく。また、言葉の意味を理解していけるよう、「ことばの宝箱」を使いながら「読書の記録」を積み重ねていく。このような活動から、自分の思いや感じたことについて、言葉を選び相手に伝えるという学習に取り組みせられると考える。

自分の考えをまとめ表現する活動においては、思考ツールを使いながら、自分のイメージする季節や情景が友達に伝わっているか、お互いに評価しながら活動を進めていく。同じ評価の視点に基づいて相互評価を行うことにより、友達の作品のよさを感じることができるようになる。また、全体交流では、友達の四季の捉え方を共有し、自分の考えを広げることができるようになっていきたい。

<主体的な伝え合いを目指す指導系統表>


	低学年	中学年	高学年
目的	・友達のよいところを見付ける。 ・友達と話をつなげる。	・自分の考えと友達の考えを比べる（共通点・相違点）。	・自分の考えを広げたり、まとめたりする（整理・関係付ける）。
方法	・ペアトーク	・グループトーク ・学級全体で話し合う。 （司会を立てて、順番を決めて等）	・フリートーク ・それぞれの立場から伝える。
内容	・友達と確かめる。 ・感想を伝え合う。 ・紹介する、説明する、報告する。	・グループに分ける。 ・調べたことを伝え合う。 （説明、報告等）	・意見や提案を伝え合う。
場	感想の交流・集団解決・振り返り・発表会・報告会 など		
日常の伝え合いを継続的に支える取組	<ul style="list-style-type: none"> ・^{てん}亀っ子10（まなびの約束） ・亀崎メソッド ・亀崎いっぱい運動（時間いっぱい話す・文をいっぱい読む・マス目いっぱい書く） ・聞き方名人・話し方名人（つながり発表） ・読書の記録（「言葉のたから箱」のことばを使って書く。）年間20冊以上を目標 		

10-1 本時の学習【5年2組】(第二次5時)

(1) 目標

清少納言や友達の考えと自分の考えを比較したり、作品の全体像を具体的に想像したりして、表現の効果を考えることができる。

(2) 展開


学習活動	指導上の留意点	評価規準・評価方法
<p>1 前時までの学習を想起する。</p> <p>2 めあてを確認する。</p>	<p>・春, 夏, 秋で清少納言と自分の考えを, 視点を基に比較してきたことをおさえる。(時間帯, 情景)</p>	
<p>めあて 二つの視点を基に冬のよさを味わおう。</p>		
<p>3 「冬の朝」を音読する。</p> <p>4 清少納言と自分の考えをまとめる。</p> <p>5 友達と意見を交流する。</p> <div data-bbox="325 1223 432 1357" style="text-align: center;">  </div> <p>6 全体で交流する。</p> <p>7 振り返りをする。</p>	<p>・古文と現代語訳を音読させる。</p> <p>・児童が清少納言と自分の考えの違いに気付けるように, 再度視点(時間帯, 情景)の確認をする。</p> <div data-bbox="592 1155 1007 1375" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p><主体的に伝え合うために></p> <p>・視点に沿った評価を行い, 友達のよさを見つけられるようにする。</p> </div> <p>・児童がさらに自分の考えを深められるように, 自分と同じ時間帯を選んだ友達と意見交流をさせる。</p> <p>・時間帯ごとに考えを分類し, 児童が様々な意見に触れられるようにする。</p> <p>・清少納言や友達の考えを聞いて, 自分にはなかった視点を振り返らせる。</p>	<p>◎人物像や物語などの全体像を具体的に想像したり, 表現の効果を考えたりしている。[思①]【観察・なりきり清少納言】</p>

10-2 本時の学習【5年1組】(第三次7時)

(1) 目標

自分が選んだ季節の素晴らしさが伝わるように、自分の考えをまとめることができる。

(2) 展開

学習活動	指導上の留意点	評価規準・評価方法
1 めあてを確認する。	<ul style="list-style-type: none"> 前時までの学習を振り返るとともに、作品見本を見せ、見通しをもたせる。 	
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">めあて 清少納言になりきって、選んだ季節の素晴らしさを表現しよう。</div>		
<p>2 「枕草子」を音読する。</p> <p>3 「枕草子」の随筆のポイントについて話し合う。</p> <p>① 時間帯 ② 情景</p> <p>4 まとめてきたことばを基に「オリジナル枕草子」を書く。</p> <p>5 グループで読み合う。アドバイスカードを書き、友達の作品のよい点や改善点を伝え合う。</p> <div style="text-align: center;">  </div> <p>6 自分の作品を見直す。</p> <p>7 振り返りをする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 自分が選んだ季節を、清少納言になりきって音読し、響きやリズムに親しませる。 清少納言の表現の仕方（視点）について確認させる。 話し合ったことを自分の表現の中に取り入れることができるようにする。 書き出したことをつないで、文章化するようにさせる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p><主体的に伝え合うために></p> <ul style="list-style-type: none"> 視点に沿った評価を行い、友達のよさを見つけられるようにする。 </div> <ul style="list-style-type: none"> 友達と交流して、新たに追記したいことや変えたいことを整理したり、書いたりするようにする。 	<p>◎選んだ季節の素晴らしさが伝わるように、自分の考えをまとめている。</p> <p>[思②]【観察・なりきり清少納言】</p>